



協体さわふじ

「藤沢市体育協会広報」第54号

発行日 平成15年7月24日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒251-0026 藤沢市鵜沼東8-2
株父宮記念体育館

新しい時代の

生涯スポーツに向けて



藤沢市教育委員会 生涯学習部長

福島 勝也

本年四月に金井部長の後任として生涯学習部長となりました福島です。藤沢市体育協会の皆様には、本市の生涯スポーツ振興に多大なご尽力を賜っております。まずもって深く感謝申し上げます。

経済の不透明感からでしょうか？社会全体に明るいつ将来展望の話題が少ないように感じます。様々な制度改革が叫ばれ、社会の仕組みが変わろうとしています。少子高齢社会に対応した新たな時代の要請に即した制度も再構築され始めています。地方分権、経済特区構想など地域特性を生かした特徴ある「まちづくり」も望まれています。

様々な困難をどのように乗り切っていくのか。その為にも健康な体力とエネルギーを養う必要性を感じます。健康の保持・増進、そしてリフレッシュを楽しまちづくり」、「みんなの健康づくり」であります。この中には、スポーツのノーマライゼーションや健康づくりのスポーツ・レクリエーションプログラムの研究が

多くの皆様のご努力により時宜を得て、本年五月、藤沢市スポーツ振興基本計画「ふじさわスポーツ元気プラン」を策定できましたこと、厚く御礼申し上げます。

この計画は、第一章スポーツ施設の整備・拡充、第二章生涯スポーツ活動の推進、第三章スポーツ情報提供体制の充実の構成となっていて、特に私が注目している項目は「スポーツを楽しまちづくり」

「活動を支える指導者づくり」、 「各種団体組織の育成と活動の充実」の項目では、学校運動部活動地域指導者の養成とスポーツ活動を支えるボランティアの養成と活用も謳われ、スポーツを通しての開かれた学校づくり、生きぬく力を培う為の地域人材活用が期待されます。そして、スポーツ振興推進の新たな息吹きを感じる「総合型地域スポーツクラブの研究・設置」が盛り込まれています。

このほかにも多くの基本的な方向性が示されています。

これらの中から、どのような優先順位で具体的な事業を実行していくかという「実施計画」については、平成十五年度中に策定する予定となっております。引き続きご支援・御協力賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、体育協会の益々の御発展と皆様方の御健勝を祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



「アラウンド・ゴルフ」小学生から高齢者まで楽しめるスポーツ

藤沢市グラウンドゴルフ協会

昭和58年に鳥取県泊村教育委員会にて誕生しました。

藤沢市グラウンド・ゴルフ協会は平成3年生涯スポーツとして始まり平成5年3月に日本グラウンド・ゴルフ協会の県協会に加入し、8チームで会員150余名で結成しました。

平成8年3月に市体育協会に加盟し、現在10チーム250余名で御所見



地区6・大庭・六会・辻堂・藤沢となつています。他に未入会のチームもあり、全国的に普及しています。

個人競技の為、公園広場や運動場等で少人数でも楽しめるスポーツです。

用具は木製のスティック・ボール(直径6cm)スタートマットを使用。ホールポスト8本を15m・25m・30m・50mの距離に置き8ホールを回り打数を記録しホールインワンが出たら合計打数より3点減点します。以上1ラウンドとし3ラウンド24ホールの合計打数を競うゲームです。

当協会として年3回の大会を秋葉台・大庭サッカー場・大清水スポーツ広場で行い、県・市老連主催の大会も開催されています。

藤沢チームは御殿辺公園で週3回、月・水・金の午後1時より2時間練習しており、2ヶ月ごとに小大会を開き成果を発表するとともに他チームとの交流を計り、年1・2回大会を開いて親睦を深めております。

どうぞ一人でも多くの方が参加されますことを期待しております。



種目協会アラカルト

「和の架け橋」

バウンドテニス

藤沢市バウンドテニス協会

バウンドテニスが、藤沢市に紹介されたのは昭和59年で、早いもので20年近くになります。

バウンドテニスは、一口で言えば「心身を健やかに保ち、心身をリフレッシュする健康スポーツ」です。それは、スポーツの持つ競技性に触れ、一方では和気あいあいと人との関わりを高揚させ、楽しさを共有するスポーツだからです。

「バウンドテニスってどんなスポーツですか?」とよく尋ねられます。その時、「軟式テニスのミニ版です。コートは、3m×10m。ネットの高さは、50cm。ルールは、テニスとも類似しています。」と説明します。

現在、藤沢市バウンドテニス協会への登録サークル数は12ですが、講習会を機会に6つのサークルが新たに誕生しました。

地区の公民館や市民センター、秩父宮記念体育館・秋葉台体育館主催の講習会と公開が行われ、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しめ、親し



田中会長(協会設立10周年記念式典にて)

めるスポーツとして市民に広がりを見せています。

健康を目指した生涯スポーツとして、高齢者対象の講習会も行われ、また、ニュースポーツとして小学生にも紹介されています。

本年は、協会が組織されて10周年の節目の年となりました。協会設立の当初は、藤沢市レクリエーション協会、その後に藤沢市体育協会に加盟することができました。

また、活動の実績が認められ市民総体のオープン種目にもなりました。全国大会には、県代表として毎年出場し、シングルス、ダブルスで優勝、入賞するメンバーを抱える協会です。



平成14年度収支決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減
体協費	12,487,000	12,724,073	237,073
補助金及び交付金	4,077,000	4,132,000	55,000
委託料	6,168,000	6,318,000	150,000
賛助会費	1,650,000	1,676,000	26,000
分担金	551,000	558,000	7,000
繰越金	40,057	40,057	0
雑収入	943	16	-927

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減
運営費	12,487,000	12,449,109	37,891
事務局費	1,863,988	1,850,102	13,886
事業費	10,369,007	10,349,007	20,000
積立金	250,000	250,000	0
予備費	4,005	0	4,005

収入済額 12,724,073 円
 支出済額 12,449,109 円
 差引金額 274,964 円

平成15年度収支予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額
体協費	12,122,000
補助金及び交付金	3,883,000
委託料	5,716,000
賛助会費	1,690,000
分担金	558,000
繰越金	274,964
雑収入	36

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額
体協費	12,122,000
事務局費	2,176,000
事業費	9,869,000
積立金	50,000
予備費	27,000

平成15年度藤沢市体育協会事業計画

本年度藤沢市体育協会では次の事業を展開します。

- 1 評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
- 2 藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
- 3 藤沢市委託事業の実施

- ① 第58回藤沢市民総合体育大会開催事業
- ② 第54回神奈川県総合体育大会藤沢市代表選

手派遣事業

- ③ スポーツ人の集い講演会の開催

- 4 加盟種目協会への補助金交付

- 5 第19回「スポーツ人の集い」開催

- 6 藤沢スポーツ賞(功労賞、優秀選手、敢闘選手)の表彰及び各種表彰に関する事業

- 7 県外スポーツ交流推進の助成事業

- 8 賛助会員の拡充

- 9 広報紙の編集、発行に関する事業

- 10 体育協会史の編纂に関する事業(60周年に向けて)

- 11 種目協会会長の開催

- 12 スポーツ関係団体との連携充実

- 13 その他体育協会の目的遂行に必要な事業

- ① 市民総合体育大会の見直し検討の推進

種目協会会長の變更

ソフトテニス協会	旧会長 杉山 清隆	新会長 伊東 満
バレーボール協会	旧会長 橋本 篤治	新会長 沼上 晃
剣道連盟	旧会長 川崎 涉	新会長 久木田善藏
ラグビーフットボール協会	旧会長 高橋陽之助	新会長 松久保六男
〈新規加盟協会〉		
ダンススポーツ連盟	会長 柴田真理子	

